



2月1日(月曜日)

月/水/金 発行

### 商売人、互助の精神とは

ティアスタッフがザ・ビジネスモールで簡易トイレを取り扱う企業4社と契約を結び、4万個の簡易トイレを発注して、被災者に感謝されたというエピソードもある。

「多くの人に参加してもらって初めて役に立つサービスですから、電話や面談によるフォローも積極的にを行っています。おかげさまで案件数は3年連続で増加中です」と大阪商工会議所・経営情報センターの大迫浩之課長は言う。

NHKの朝ドラで高視聴率が続く「あさが来た」。注目を集める五代友厚が初代会頭となつた大阪商工会議所では、ネットが主流になった今の時代でも相互扶助の精神で全国の商売人を支援し続けている。ザ・ビジネスモールを通じて、商売人同士が助け合う気持ちを再度、確認してみるのもいいだろう。

(マーケティングコンサルタント)



大阪商工会議所の企業マッチングは年々増えている

### 竹内謙礼の 顧客キヤッチ

大阪商工会議所が各地の商工会議所等と共同運営する「ザ・ビジネスモール」は、発注先を探したい企業と販路を拡大したい企業をネットでマッチングさせる商取引支援サービスである。年間の商談数は約2000。商工会・商工会議所の会員になれば登録手数料、利用料は無料。成約手数料も無料という。登録企業数は24万6000社。商工会や商工会議所の会員なので、他のマッチングサイトよりも取引先の安心感は大いによつた。

決まる商談の内容も面白い。例えば、ある企業が北海道の物産展をやるうと思つた際、ザ・ビジネスモールで北海道の養鶏場を見つけて商談成立。こだわりの飼料で育てた卵が評判を呼び、毎週約1万個を受注するほどの大口契約となった。東日本大震災の際は、高層階のマンションの住人が1階の仮設トイレまで行くのが大変だということを知り、ボランティアに直訴。ボラン